

(1)

会報

No. 95

平成 28 (2016) 年 9 月 15 日

http://www.library.pref.kyoto.jp/?

page_id=28

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町 9

京都府立図書館内

TEL (075) 762-4655

<目次>

1 面

・ K-Libnet の新総合目録

(京都府立図書館)

2～3 面

・【特集】図書館における障害者サービスの充実にむけて

4 面

・総合資料館が生まれ変わります！
(京都府立総合資料館)
・京都府図書館等連絡協議会事業
・研修予定

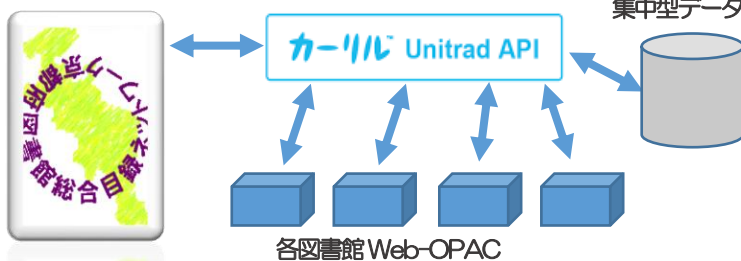
K-Libnet の新総合目録
府立図書館 島村 聡明

京都府立図書館では、平成二十八年三月のリプレイスに伴い、館内システムと同時に、日頃、みなさまにお使いいただいている「京都府図書館総合目録ネットワークシステム」(K-Libnet)も全面的に刷新いたしました。
K-Libnet は、平成十三年の新府立図書館開館に合わせて稼働し、第一期(平成十三～十七年度)を日本総研が、第二期(平成十八～二十七年)を富士通が構築したシステムを使って運用してきましたが、今回の第四期(平成二十八～三十二年)度は、京セラ丸善システムインテグレーション株式会社が担当することになりました。
前システムまでは、基本的に第一期稼働時のテクノロジーを使用していたこともあり、検索スピードや処理速度の点で、かなりストレスフルな状態になっていました。そこで、今回の開発では、システムの根本から見直しを図り、みなさまに慣れていただいているインターフェイス(操作上の画面)はなるべく前システムに近い形にしたものの、内部は一気に最新技術に入れ替えました。そのため、主に処理スピードの面で大幅な改善が見られます。
さて、今回のシステムの中で大きな特徴が、総合目録の検索部分に、全国の

図書館横断検索を提供している「カーリル」社の「カーリル Unitrad API (ユニトラッド・エーピーアイ)」という横断検索 API (外部からプログラムを利用する仕組み) を使用している点です。
まず、みなさまがお使いの K-Libnet 検索画面で検索語を入れていただくと、その検索語がカーリルの API に引き継がれます(図)。
検索語を受け取ったカーリルの API は、K-Libnet 各加盟館の Web-OPAC 及び府立図書館のサーバ内にあるデータ提供館のデータを検索し、そこで返ってきた検索結果から、同じ ISBN を持っている館のデータを一つにまとめ(書誌同定)、総合目録の画面に検索結果として表示しています(そのため、现阶段では、ISBN が無い、もしくは、正しく入力されていない書誌を持つ資料については、書誌同定されていません)。
そもそも、超高速を謳っている API ですので、検索スピードが上がり、便利になりましたことにより、一般の利用も多くなりました。すなわち、カーリルから各図書館への検索回数が多くなったこととなります。新システム稼働直後には、その増加件数が想定をはるかに上回ったため、アクセス激化を原因として、特定の図書館の Web-OPAC が一時使用不可になるなどの現象が発生しま

した。
その後は、各館への検索回数をモニタリングして調整し、また、一度行なった検索は、再度、各図書館の Web-OPAC を検索することなく、一時的に前回の結果をためたキャッシュから検索できるように対応しています。
三月のリリース後も技術的な改良を重ね、このあとも、可能な限りさらなる機能向上を目指しています。御意見や御要望等があればお寄せください。

K-Libnet 総合目録



(図)新総合目録の概念図

【特集】 図書館における障害者サービスの充実にむけて

「サピエ」の利用による障害者サービスのすすめ

府立図書館 仁科 豪士

「障害者差別解消法」が施行され、公共図書館や学校図書館などは、視覚障害などのため活字を読むことが困難な方（以下「視覚障害者等」※）から希望があれば、その方が利用可能な形式でできる限り資料提供を行うことが義務になりました。

視覚障害者等への資料提供の方法は、対面朗読、点字・録音図書、大活字本、テキストデータの提供など様々ですが、一館だけで全てに対応するのは困難です。

そこで、視覚障害者情報提供施設（点字図書館）や公共図書館、学校図書館、ボランティアグループなどが協力し、インターネット上で資料制作や提供などを行うシステムが構築されています。それが、「視覚障害者情報総合ネットワーク」（サピエ）です。

※視覚障害者だけでなく、寝たきり

で本を持つのが困難な方、ディスレクシア等の学習障害のある方なども含まれ、障害者手帳の所持者に限られませんが。

◇サピエとは？

サピエは「サピエ図書館」、「地域生活情報」、「図書制作支援」の三つのサービスで構成されています。

中でも中心的なサービスである「サピエ図書館」は、施設・団体会員が制作・所蔵している点字・録音図書の書誌データベースです。七万タイトルのDAISYデータと十八万タイトルの点字データが登録されており、これらを含むおよそ六十六万件の書誌情報を、誰でも検索することができます。

◇サピエの会員サービス

サピエには、平成二十八年六月末時点で三百二十八の施設・団体と一四六四六人の個人が加入しています。個人会員になれるのは、著作権法三十七条三項で規定されている視覚障害者等でサピエに加入している施設・団体に利用登録している方です。

京都府立図書館は、サピエの施設・団体会員であり、個人会員の登録窓口になっています。

会員は、サピエ図書館からDAISY

Yと点字データをダウンロードすることができます。施設・団体会員は利用者への提供が可能で、個人会員は私有のパソコンやスマートフォンなどでの利用が可能です。また、オンラインクエスト機能により点字・録音図書の貸出依頼をすることもできます。

◇サピエ図書館を利用したサービス例

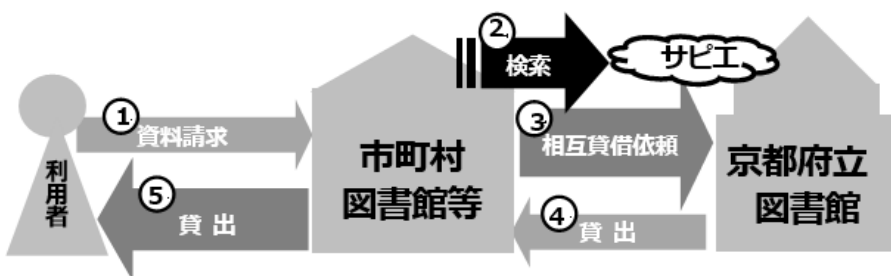
視覚障害者等に該当する利用者から「今年の本屋大賞受賞作を読みたい」という希望があったとします。そこで、サピエ図書館 (<https://library.sapie.or.jp/>)で「宮下 奈都著『羊と鋼の森』」を検索すると、点字、音声DAISY、テキストDAISYの各版が作られており、ダウンロードも可能であることが分かります。

利用者が視覚障害者であるときは、テキストDAISY版以外のものは、サピエに未加入の図書館も所蔵館に依頼すれば「特定録音物等郵便」などとして郵送料なしで借り受けることができます。

しかし、利用者の障害が視覚以外のものであるときは、前述の郵送制度を利用できないことから、資料を提供するためには、それぞれの館でデータをダウンロードする必要があります。そこで、当館では府内の市町村図書館等からの御依頼があれば、サピエか

らデータをダウンロードしてCD・Rにコピーし、連絡協力車で依頼館にお届けします。

障害者サービスの充実に図るためには、府内の市町村図書館等や学校図書館、障害者関係施設・団体間の連携が重要です。障害のある利用者へのサービスで迷うことなどがありましたら、お気軽に御相談ください。



京田辺市立中央図書館の

障害者サービスについて

京田辺市立中央図書館

尾崎 睦美

当館では、点字図書・大活字図書の収集及び貸出や対面朗読の実施、京都ライトハウス情報ステーションから団体貸出で借り受けた音声資料の貸出を行っています。所蔵していない資料についても、全国の点字図書館から借用したり、点字図書については、ボランティアの協力を得て、作成していただいたりして、多くの方に利用していただいています。収集した点字図書や大活字図書は、図書館入口近くにある、書架の中でも一番目立つ場所に配架し、多くの方に利用していただけるよう工夫しています。また、視覚障害者の方に、市役所障害福祉課と連携し、図書館の利用案内やステーション貸出のリストを個別に郵送し、希望される方には、郵送貸出サービスも実施しています。

そして、来館が困難な方については、職員が自宅まで資料をお届けする宅配サービスを行っており、

平成二十七年度では、八十八回、のべ八百六十九冊の利用がありました。利用者宅へ伺うときには、希望された資料だけでなく、今話題になつている本や最近出版された本など、様々な情報をお伝えするよう心がけています。紹介した資料が、「面白かった」とおっしゃっていただく、「次は何をおすすめしようか」と資料探しに努めている毎日です。ちよつとした会話から、利用者とコミュニケーションをとることで、新たなリクエストにつながっていると考えており、点字図書や音声資料の貸出の内、半分以上を、宅配が占める結果となっています。

平成二十二年には、24時間テレビチャリティー委員会事務局から、拡大読書器やデジ録音再生機、活字読み上げ機、大活字図書等を御寄贈いただき、さらに障害者サービスを充実することができました。

これからも、様々な情報を発信し、図書館が利用者にとって、もっと身近な存在になれるよう、努力していきたいと考えています。

大活字本の紹介

府立図書館 島村 聡明

障害者手帳をお持ちでない利用者の中でも、加齢や病気等の理由で、普通の本の字では小さくて読みにくいという方は多くいらっしゃると思います。

「大活字本」という本があるのを御存知でしょうか？

「大活字本」はその名のとおり、大きな文字で組まれている本のことで、読みやすくなっています。

ただ、一口に大活字本といっても、文字の大きさ（14ポイント）

順位	書名	著者	書架番号
1	探偵小説	江戸川乱歩	20166
2	探偵小説 下	横溝 光史	20166
3	探偵小説 上	横溝 光史	20166
4	探偵小説 下	横溝 光史	20166
5	探偵小説 上	横溝 光史	20166
6	探偵小説の歴史 下	横溝 光史	20166
7	探偵小説の歴史 上	横溝 光史	20166
8	探偵小説の歴史 下	横溝 光史	20166
9	探偵小説の歴史 上	横溝 光史	20166
10	探偵小説 下	横溝 光史	20166
11	探偵小説 上	横溝 光史	20166
12	探偵小説 4	横溝 光史	20166
13	探偵小説 3	横溝 光史	20166
14	探偵小説 2	横溝 光史	20166
15	探偵小説 1	横溝 光史	20166
16	探偵小説 下	横溝 光史	20166
17	探偵小説 中	横溝 光史	20166
18	探偵小説 上	横溝 光史	20166
19	月下の恋人 下	横溝 光史	20166

京都府立図書館ホームページの「探す」から「大活字・外国図書」を選び、「集計」を押すと、当館所蔵の大活字本を一覧で見ることができます。

22ポイント）、フォント（明朝・ゴシック）、段組（一段組・二段組）がそれぞれ出版社ごとに違い、かなり印象が変わります。

各図書館で揃えるのはなかなか難しい種類の資料だと思いますので、ぜひ一度、相互貸借で取り寄せて、実際に御利用いただければと思います。

なお、文字が大きくなると、当然のことながら、それだけページ数が増え、普通の本であれば一冊で刊行されているところが、一分冊、三分冊と増えてしまうことがあります。持ち運びも大変ですが、貸出冊数が増えてしまうところも、利用者にとっては悩ましいところかもしれません。

そういった意味で、今のところ、図書館での導入はあまり進んでいませんが、自分の好みに応じて自由に文字の大きさが変えられ、しかも、持ち運びの大きさは変わらない「電子書籍」での資料の提供も、今後、選択肢のひとつとなっていくのではないのでしょうか。

**総合資料館が
生まれ変わります！**

府立総合資料館

京都府立総合資料館は、新たな建物に移転するため、平成二十八年九月十四日から閉館しています。

新館の名称は、「京都府立京都学・歴史館」。「京都学ラウンジ」や大小のホールを併設するなど、現在の資料館機能に、「京都学」研究支援機能が加わり、京都の歴史・文化等に関する新たな学習・交流の場として生まれ変わります。

また、新しい閲覧室(京都資料総合閲覧室)は、府立大学の図書館と同じフロアに配置され、双方の資料が閲覧しやすくなるなど利用者の利便性が向上します。

京都学・歴史館の建物は、現在の資料館より二百メートル南側、京都府立大学の北側に、この七月に完成しました。「京都学」関連の施設は本年十二月に一部オープンし、全館の利用開始は平成二十九年年度の早い時期を目標としています。閉館中は、現館から新館への移転作業に専念するため、利用者の閲覧・レファレンス・複写等をはじめ、図書館間の相互協力、K-Libnetの横断検索、当館からのレファレ

ンス回答、相互貸借業務についても休止していますので、御了解くださいますようお願いいたします。

平成二十八年度

京都府図書館等連絡協議会事業

【今年度の開催実績】

四月六日(水)

第一回理事会(府立図書館)

四月二十七日(水)

定期総会(府立図書館)

定期総会終了後、功労者(団体)

表彰・講演及び情報交換会

六月三日(金)

第一回京都図書館大会実行委員会(府立図書館)

六月十五日(水)

研修研究委員会(府立図書館)

六月十六日(木)

相互協力委員会(府立図書館)

六月二十四日(金)

広報委員会(府立図書館)

八月八日(月)

第二十五回京都図書館大会

(同志社大学寒梅館)

参加人数 百七二人

【しおりコンテスト】

第五回子ども読書

本のしおりコンテスト

(府教委との共催事業)

◎表彰式

日程 十一月六日(日)

会場 京都平安ホテル

◎巡回展示 巡回順路を調整中

平成二十八年度 研修予定

【京図連協主催の研修】

◎北部会場

「アニメシオンを中心とした児童

サービス(仮)」

日程 十一月上旬

会場 みやづ歴史の館

講師 杉山 きく子氏

(東京子ども図書館理事)

◎中部会場

「レファレンスPOPについて(仮)」

日程 十二月二日(金)

会場 府立図書館

講師 桂 まに子氏

(京都女子大学講師)

◎南部会場

「児童サービスについて」

日程 十二月七日(水)

会場 城陽市立図書館

講師 出口 宏子氏

(元八幡市立図書館長)

【その他の研修】

府立図書館出前研修

「絵本のお話と読み聞かせの方法」

◎九月二十八日(水) (福知山市立

図書館中央館)及び十月五日(水) (府立図書館)
講師 谷 文絵氏

(「絵本ちゃん」主宰)

第百二回全国図書館大会東京大会

「地域創造と図書館の未来」

日程 十月十六日(日)

会場 青山学院大学

青山キャンパス

近畿公共図書館協議会研究会

(兼児童奉仕部門研究会)

「子どもの読書環境を考える」

日程 十一月十一日(金)

会場 コラボしが21

全国公共図書館研究会

(サービス部門 総合・経営部門)

「図書館がもつと輝くためにできること」

日程 平成二十九年一月

十九日(木)～二十日(金)

会場 北九州市立商工貿易会館

図書館地区別研修(近畿地区)

日程 平成二十九年一月三十一

日(火)～二月三日(金)

会場 和歌山県立図書館

II 会報をホームページに掲載II

第九十五号を、京都府図書館等連

絡協議会のホームページ(URLは

一面参照)に全文掲載しています。御

利用ください。